

令和6年度「人権に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

今年度実施予定の「人権に関する市民意識調査」で調査する項目を検討するための材料とさせていただきます。また、市民意識調査の結果とあわせて分析を行い、今後予定している「横浜市人権施策基本指針」の改訂に反映させていきます。

2 アンケートを実施した感想

Q5「人権尊重を主張する人が増えていると感じますか。」の質問では、「ア そう思う」、「イ どちらかと言えばそう思う」で回答した方が7割近くだったことから、人権尊重を主張する人が増えていると感じている方が多いことが分かりました。

一方で、Q12「性別や年齢、国籍や障害の有無等、多様な属性を持つ人々が共に安心して暮らせる社会の実現を目指すことについて、あなたはどのように思いますか」の質問では、約9割の方が「時間がかかると思う、難しいのではないかとと思う、できないと思う」と回答しており、現実問題として難しい側面もあると認識している方が多かったことから、差別や偏見を生まない社会の醸成のためにも、引き続き、地域社会に人権意識を根差す取組の重要性を感じました。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

今回のアンケートは、今年度実施予定の「人権に関する市民意識調査」の先行調査としての意味合いも兼ねており、市民の皆様の人権に関する率直なご意見をいただくことができ、市民意識調査の前段として、大変参考になりました。

今後も、「横浜市人権施策基本指針」に定める「一人ひとりの市民が互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」の実現に向けて、各種人権施策の推進に努めていきます。

担当：市民局人権課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。